

令和2年度の教育に関する
事務の点検及び評価報告書

令和3年12月

糸魚川市教育委員会

目 次

Ⅰ	教育に関する事務の点検及び評価の実施概要		
	1	点検と評価の趣旨	… 1
	2	点検及び評価の方法	… 1
	3	学識経験者の知見の活用	… 2
Ⅱ	教育委員会の運営及び活動状況		
	1	教育委員会の構成	… 3
	2	教育委員会会議開催状況	… 3
	3	総合教育会議	… 3
	4	教育委員会の主な活動状況	… 4
Ⅲ	施策の点検・評価		
	第1	0歳から18歳までの一貫した子育てと教育の推進	
		1	妊娠出産支援と親子の健康 … 5
		2	子育て支援の充実 … 11
		3	就学前教育の充実 … 16
		4	質の高い学校教育の推進 … 19
		5	学校等教育環境の整備 … 27
	第2	生涯学習の充実	
		1	社会教育の充実 … 32
		2	スポーツ環境の充実 … 40
	第3	文化の振興	
		1	芸術文化の振興 … 44
		2	歴史・文化の継承と活用 … 49

I 教育に関する事務の点検及び評価の実施概要

1 点検と評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

糸魚川市教育委員会では、教育に関する事務の点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付して報告することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政に対する市民の信頼の向上を図ります。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の方法

(1) 点検及び評価の対象

点検及び評価は、糸魚川市教育委員会が執行している事務・事業のうち、「第 2 次糸魚川市総合計画 基本計画」に掲げた施策を中心に行いました。

(2) 点検及び評価の方法

評価の実施方法については、「第 2 次糸魚川市総合計画 基本計画」の中で

掲げる指標の達成状況や、対象年度の取組内容などを踏まえながら、各事業を3段階で評価し、評価理由と今後の課題解決に向けた取組について示し、点検及び評価を行いました。

評価	評価基準
順調	目標のとおり達成した、または、計画通り進んでいる。
おおむね順調	概ね目標を達成した、または、目標達成に向け進んでいる。
遅れている	目標を下回った、または、計画に遅れが生じている。

3 学識経験者の知見の活用

法の規定に基づく、教育に関し学識経験を有する方からの知見の活用として、協議会を開催して、施策の取組に関する総合的な評価としてご意見をいただき、今後の取組に活用しています。

教育委員会協議会の開催

日 時：令和3年10月1日 午前9時30分～午後5時00分

会 場：糸魚川市役所 203・204 会議室

学識経験者：高橋 守 氏

教 育 長：蘆本 修一

教 育 委 員：塚田 京子 山本 修

(欠席：谷口 一之 齊藤 里沙)

事 務 局：教育次長、こども課長、こども教育課長、生涯学習課長、
文化振興課長

Ⅱ 教育委員会の運営及び活動状況

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行します。定例会や臨時会のほか、協議会を開催しています。

1 教育委員会の構成

令和3年3月31日現在

職名	氏名	任期
教育長	井川 賢一	平成31年1月1日～令和3年12月31日
教育委員 (教育長職務代理者)	永野 雅美	平成29年5月20日～令和3年5月19日
教育委員	靄本 修一	平成28年5月20日～令和2年5月19日
		令和2年5月20日～令和6年5月19日
教育委員	谷口 一之	平成30年5月20日～令和4年5月19日
教育委員	塚田 京子	令和元年5月20日～令和5年5月19日

2 教育委員会会議開催状況

定例会を12回、臨時会を8回開催し、議案68件、協議4件、報告27件について審議等を行いました。議案68件の内訳は、人事案件33件、予算に関する意見の申出10件、条例・規則等の改正16件、その他9件となっています。

また、協議会を開催し、令和元年度の教育に関する事務の点検及び評価を行いました。

3 総合教育会議

市長と教育委員会が協議あるいは調整を行う場として「総合教育会議」が開催されました。下記議題等について協議し、意見交換を行いました。

開催年月日	会場	議題等
令和2年10月16日	市役所会議室	第1回 ・ICTの授業への活用 ・教職員のICT活用スキルの格差是正について ・電子メディアの関わり等の実態とモラル教育について

4 教育委員会の主な活動状況

(1) 教育関係会議への出席

- ・全県教育長会議（新潟市）【中止】
- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会（糸魚川市）【書面決議】
- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会（燕市）【書面決議】
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（妙高市）【書面決議】
- ・上越地方三市教育委員会連絡会総会（糸魚川市）【中止】

(2) 学校等訪問

- ・6月16日 能生小学校（学力向上研修会）
- ・9月28日 大和川小学校（学力向上研修会）
- ・10月1日 西海小学校、糸魚川東小学校、大野小学校、根知小学校
- ・10月13日 田沢小学校、青海小学校、田沢幼稚園
- ・11月19日 下早川小学校、大和川小学校、糸魚川東中学校、青海小学校
- ・11月20日 能生小学校（子ども一貫教育フォーラム徹底反復・集中速習糸魚川大会）
- ・11月26日 木浦小学校、中能生小学校、南能生小学校
- ・11月27日 糸魚川小学校、ひすいの里総合学校、糸魚川中学校
- ・12月4日 能生小学校、磯部小学校、能生中学校

(3) 式典等への出席

- ・4月1日 教育委員会年度始めの式
- ・11月6日 ジオパーク学習交流会
- ・11月12日 キャリアフェスティバルいといがわ
- ・11月21日 陰山メソッド実践力向上セミナー
- ・12月22日 子ども一貫教育フォーラム
- ・2月12日 教育懇談会

※ 市立学校入学式及び卒業式は、新型コロナウイルス感染防止のため来賓出席なし。

(4) 先進地等の視察

- ・10月27日 市内視察研修（谷根大釜、コスモクロア輝石露頭、「親しらず」ほか）
- ※ 新型コロナウイルス感染防止の観点から市内視察を実施。

Ⅲ 施策の点検・評価

第1 0歳から18歳までの一貫した子育てと教育の推進

1 妊娠出産支援と親子の健康

- (1) 出産・育児満足の実環境づくり
- (2) 子どもと保護者の健康の増進

【基本方針】

出産、育児の満足度の高いまちを目指すとともに、健康づくりの土台を幼少期までに定着させ、遊びの推進、生活リズムの改善など健康づくりを行います。

1 施策指標

指標	現状 (R1)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
子どもとふれあう努力をしている割合 (小学校低学年の親)	58.4%	85%	85%
3食食べている割合 (4～6歳)	95.7%	100%	100%

2 施策の方向

(1) 出産・育児満足の実環境づくり

- 安心・満足して出産できるよう関係機関と連携し、医療環境の整備を行います。
- マタニティスクールや育児教室、個別の訪問や相談会等を開催し、保護者の気持ちに寄り添った相談体制に向け、内容の充実を図ります。
- 乳幼児健康診査で育児不安の軽減を図り、継続支援が必要な親子にきめ細かく支援し、愛着形成(※1)を図ります。
- 発達段階に即した愛着形成を具体的に啓発し、気軽に相談できる体制づくりを進めます。また温かいところによるしつけを地域ぐるみで進めます。

※1 愛着形成：幼児期までの子どもと養育者との間で、情緒的な結びつき(信頼関係、愛情など)が培われること。

(2) 子どもと保護者の健康の増進

- 早寝早起きおいしい朝ごはん運動を推進し、幼児期までに生活リズムの土台を定着させ、生涯を通じた健康づくりにつなげます。
- 基礎的な調理体験、食べる体験を通じて「食」への関心が持てる子どもを育成します。

- 子どもだけでなく保護者も含め食生活や生活リズムの改善に取り組みます。
- 幼少期までの外遊びや集団遊び等の体験活動が、子どもの心身の健康に欠かせないため、ゲーム機、スマートフォン等の電子メディアに頼らない子育てを推進し、健康づくり、コミュニケーション能力、運動能力、自己コントロール能力等を育みます。

3 事業内容（主要事業）

(1) 妊娠アシスト事業

妊娠届出時の面接相談や、各種マタニティスクールを実施し、出産や育児に関する知識や技術を身につけ、安定したマタニティライフを送ることができるように取組を行っています。

更に、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠から出産後までの切れ目のない支援の仕組みづくりを進めています。

また、不妊症治療・不育症治療に伴う治療費の一部助成を行い、経済的負担の軽減に努めます。

【妊娠アシスト事業の利用状況】

区分	令和元年度	令和2年度
パパマママタニティスクール参加者数	72人	46人
不妊症治療費助成件数（うち妊娠成立件数）	35件(12件)	26件(15件)

(2) 乳幼児すこやか事業

乳幼児健診等を通じ子どもの心身の健康状態の確認及び生活改善を図り、子どものすこやかな成長と、保護者が安定した育児を行えるよう支援しています。

発達障がいの可能性のある子どもを早期に発見し、適切な支援につなげられるよう、5歳児発達相談会を実施しています。

歯科健診におけるむし歯の早期発見、幼児を対象としたフッ化物塗布及び市内幼児・小中学生を対象としたフッ化物洗口の実施等により、むし歯予防に努めています。

【乳幼児すこやか事業の状況】

区分	令和元年度	令和2年度
3歳児健診受診率 ※1	103.2%	98.3%
5歳児（年中児）発達相談会利用者割合	17.6%	15.3%
中学生一人平均むし歯本数	0.56本	0.51本

※1 前年度未受診者を含む

(3) 親子の絆応援事業

0歳からの愛着形成推進のため、2か月児訪問、おっぱい相談、すくすく赤ちゃん広場を開催し、具体的な育児方法の助言等を行っています。

中学生を対象とした赤ちゃんふれあいスクールでは、子どもたちと赤ちゃんとのふれあい体験から、愛着形成や生命の大切さを学習する機会を提供しています。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】

区分	令和元年度	令和2年度
母乳育児率（4か月未満児）	46.2%	47.2%
すくすく赤ちゃん広場参加者数	延 195 人	延 130 人
赤ちゃんふれあいスクール参加者数	596 人	0 人

(4) めだか園運営事業

発達支援センターめだか園では、集団生活への適応が困難な幼児に対し少人数編成による療育教室を開催し、就園・就学へのスムーズな移行に向けた支援を行うとともに、保護者への支援として臨床心理士、言語聴覚士等による発達相談を実施しています。

【めだか園運営事業の状況】

区分	令和元年度	令和2年度
発達支援センターめだか園登録者数	70 人	65 人
発達支援センターめだか園利用者延人数	1,297 人	1,312 人

(5) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業

妊娠期から就園までは、マタニティスクールや乳幼児健診において、就園児や小学生は健康教室の開催や生活リズム改善の家庭学習を通じて、妊娠期からの一貫した取組を推進しています。特に9歳までの規則正しい生活リズム定着に重点をおいています。

また、東北大学加齢医学研究所長川島隆太氏を講師に市内中学1年生を対象としたオンライン講演会「基本的生活習慣が君たちの未来を決める」を開催しました。

【生活リズムの現状】

区分	平成元年度	令和2年度
① 21時30分までに布団に入る割合 (小学1～3年生)	68.3%	69.3%
② 朝ごはん3品以上の割合 (小学1～3年生)	66.5%	71.0%
③ 電子メディア総使用時間2時間以内の割合 (小学4～6年生)	58.8%	53.2%

*①・②は9歳までに生活リズムを身につける目標のため小学1～3年の数値を掲載、③は電子メディアとの付き合いが難しくなる小学4年生以上の数値を掲載した。令和元年度よりアンケートを変更し、中高生と統一した。

(6) 親子食育推進事業

妊娠期から「おいしい朝ごはん(おかずのある朝ごはん)」の重要性を啓発し、幼児期以降は、キッズ・キッチン、ジュニア・キッチン等の調理体験を通じ、「食」への関心が高まるよう努めています。また、各種教室や該当者への個別栄養相談等を実施し、栄養バランスのとれた食生活の実践について支援を行っています。

【食育推進事業の状況と園児の肥満出現率】

区分	令和元年度	令和2年度
乳幼児食事指導参加者数	1,009人	1,027人
ステップアップ離乳食講座参加者数	63組	11組
ハッピー育児会参加者数	48組	47組
キッズ・キッチン、ジュニア・キッチン参加者数	768人	526人
キッズ・キッチン、ジュニア・キッチン満足度	99.0%	100%
園児の肥満出現率	5.1%	3.9%

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 妊娠アシスト事業	評価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パパマママタニティスクールは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加者数が前年度より減少していますが、妊婦だけではなく家族で出産、育児について学ぶ機会となりました。 ・ 妊娠から出産後までの切れ目のない支援のために、妊娠後期に電話で妊娠出産に関する必要な情報提供を行い、安心して出産を迎えられるよう、不安や心配が軽減するような相談に努めました。 		

<p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も妊婦一人一人が安定したマタニティライフを送ることができるよう、ニーズに合った事業や丁寧な相談を実施します。 		
(2) 乳幼児すこやか事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健康診査は、未受診者への受診勧奨を行うことにより、高い受診率（98%以上）を維持しています。 健康教室等での歯・口腔の健康に対する意識啓発、フッ化物塗布、フッ化物洗口の実施により、むし歯有病率、1人平均むし歯本数は低い水準を維持しています。 		
(3) 親子の絆応援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母乳育児率は、県平均を下回っていますが、2か月児訪問やおっぱい相談等で母乳育児支援を行い、昨年度より上昇しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、赤ちゃんふれあいスクールは開催できませんでしたが、すすく赤ちゃん広場を開催し、保護者に愛着形成の重要性など理解いただきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も愛着形成の重要性について周知し、親子の絆が深まるよう、訪問や各種教室・相談事業に取り組みます。 		
(4) めだか園運営事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業内容は順調ですが、めだか園の学習スペースが利用者数に対して狭小で、登録者数をこれ以上増やすことが難しい状況です。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な発達支援のための体制整備を進めます。 		
(5) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康教室や家庭での取組等により一定の水準を維持しています。一方で、課題となっている児童生徒の電子メディア接触時間については、制限が難しくなっており、啓発内容を見直していく必要があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き規則正しい生活リズムの大切さについて普及啓発を進めるとともに、電子メディアについては、関わり方への啓発を検討していきます。 		

(6) 親子食育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キッズ・キッチンは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加者数が前年度より減少していますが、アンケート結果から他の食育教室を含め、高い満足度を維持しています。 ・ 園児の肥満出現率は、県平均を下回っています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児健診や食育教室等で栄養バランスのとれた食生活について普及啓発し、肥満園児の保護者に対しては、将来の生活習慣病を予防するため、個別栄養指導を実施します。 		

2 子育て支援の充実

- (1) 子ども・子育て推進体制の充実
- (2) 子育て家庭を支える取組の推進
- (3) 保育サービスの充実
- (4) 子育てと仕事の両立支援
- (5) 地域で行う子育て支援

【基本方針】

多様なスタイルの子育てと仕事が両立でき、子育て世代が、子育てに自信や希望を持って子どもを産み育てたいと思えるよう支援し、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

1 施策指標

指標	現状 (R1)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
子育て環境の満足度	52.4%	60.0%	70.0%

2 施策の方向

(1) 子ども・子育て推進体制の充実

- 糸魚川市子ども一貫教育方針に基づき、市民が子育てについて理解と認識を深め、家庭、地域、幼稚園、保育園、学校等が相互に協力し、地域社会が一体となった子育てを推進します。

(2) 子育て家庭を支える取組の推進

- 育児相談や子育てサークルの活動支援の中心となる子育て支援センターの事業内容を充実します。
- 発達支援センターめだか園では、発達や成長に不安のある子どもと保護者に対する適切な相談や支援を行い、子どもの発達を促します。
- 児童虐待等の発生予防と早期発見に努め、子どもに関する様々な相談に適切に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心に継続的に必要な支援を行います。
- 保育料の軽減や子ども医療費助成などにより、子育てに係る保護者の経済的負担の軽減を図ります。

(3) 保育サービスの充実

- 需要が高まっている0～2歳の保育の場を確保するため、認定こども園や地域型保育事業等、既存の保育園に加え多様な選択ができる環境整備を進めます。
- 一時保育や時間外保育、病児・病後児保育等、個々の事情に柔軟に対応できるよう、事業の拡充を図ります。

(4) 子育てと仕事の両立支援

- 育児をしながら働く保護者へ育児支援の各種制度の充実を図るとともに、企業に対して短時間勤務の導入などを働きかけ、就労環境の整備を推進します。

(5) 地域で行う子育て支援

- 子育てに関する援助を求める世代と援助できる世代間の交流拡大を図り、地域全体で子育て中の家庭を支える体制や子育てしやすい環境整備を推進します。

3 事業内容（主要事業）

(1) 特別保育事業

・一時保育事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児（未就園児）を対象に、1日単位で利用できる保育を実施しました。

【一時保育の年間利用児童数】

区分	令和元年度	令和2年度
公立保育園（2園）中央、寺地	334人	408人
私立保育園（5園） はやかわ、いくみ、能生、おひさま、ひまわり	503人	544人
合計	837人	952人

(2) 休日お助け保育事業

就労等により、保護者が休日に家庭で保育できない場合に、ヴィラオレッタキッズランドで保育を実施し、保護者に対してその費用の一部を助成しました。

【休日保育の年間利用状況】

区分	令和元年度	令和2年度
利用日数	119日	103日
総利用者数	664人	406人

(3) 子ども医療費助成事業

0歳から高校卒業年齢までの子どもの医療費について助成しました。

※一部負担金（保護者負担額）：通院・調剤530円／日（同月同一医療機関5回目以降は無料）、入院無料

【子ども医療費助成の実施状況】

区分	令和元年度	令和2年度
助成件数	58,024件	45,868件
助成給付額	97,432,529円	90,314,450円

(4) 病児・病後児保育事業

育児と仕事の両立支援のため、生後6か月から小学6年生までの児童で、病期中または病気の回復期にあつて、家庭での保育ができない児童を一時的に預かる病児・病後児保育を実施しました。

【病児・病後児保育の年間利用状況】

区分	令和元年度	令和2年度
延利用児童数（病児・病後児）	427人	276人

(5) 子育て支援センター運営事業

未就園児とその保護者にとっての交流の場として機能を果たし、育児相談がしやすい環境となるよう努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により予約制としていることで、利用者が大幅に減少しました。

【子育て支援センターの利用状況】

区分	令和元年度	令和2年度
利用者数	12,940人	7,388人
相談件数	9件	6件

(6) ファミリーサポートセンター事業

地域全体で子育てをサポートする取組として、会員の募集に努め、事業実施しました。

【ファミリーサポートセンターの利用状況】

区分	令和元年度	令和2年度
提供会員	22人	24人
依頼会員	41人	45人
年間活動回数	198回	148回

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 特別保育事業	評価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">一時保育事業の利用者数はほぼ横ばいとなっており、保護者ニーズに対応しています。 【課題解決に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none">利用者の多様なニーズに対応できるように引続き事業の周知を図ります。		
(2) 休日お助け保育事業	評価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">週末には、家庭で親子が一緒に過ごす時間が増えたこと等により、利用者数は前年度より減少しています。 【課題解決に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none">引き続き事業周知に努めるとともに、愛着形成の観点から親子が一緒に時間を多くとれるような環境整備にも努めます。		
(3) 子ども医療費助成事業	評価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">対象となる範囲を順次拡大してきており、市民の満足度は高いと捉えていますが、県内では、医療費の自己負担を無料としている自治体もあります。 【課題解決に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none">県内の状況を把握しながら、必要に応じて更なる助成について検討します。		

(4) 病児・病後児保育事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数の変動に応じ、国の交付金に加算して市独自の補助を実施しており、適切に運営しています。 		
(5) 子育て支援センター運営事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者が大幅に減少しましたが、新型コロナウイルス感染症対応のため予約制としていることに加え、共働き等で早期に保育園へ預ける保護者が増えています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用形態とあり方について検討します。 		
(6) ファミリーサポートセンター事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員数は増加傾向にありますが、特定の会員のみが利用する傾向があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で子育て世帯を支えるために有効な事業であることから、事業周知を図り、会員・利用率の増に努めます。 		

3 就学前教育の充実

- (1) 家庭教育の充実・強化
- (2) 乳幼児教育の充実
- (3) 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進

【基本方針】

愛着形成の重要性を家庭と共有し、より良く生きるための基礎を育てます。

1 施策指標

指標	現状 (R1)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
糸魚川の自然を利用した遊びをしている割合 (4～6歳)	57.7%	70.0%	70.0%
1日1回は、自分の子をほめる保護者の割合 (4～6歳)	98.0%	100%	100%

2 施策の方向

(1) 家庭教育の充実・強化

- 講演会、乳幼児健康診査などを通して、子育ての土台となる親子の愛着形成、自己肯定感を育む子育ての重要性を啓発します。
- 2か月児訪問や子育て支援センターでの積極的な声かけなどにより、保護者の子育ての不安、悩みの解消に努めます。

(2) 乳幼児教育の充実

- 愛着形成の重要性など、家庭、地域と連携した教育を推進します。
- 幼稚園・保育園での遊びを中心とした生活を通して、発達に応じたきめ細やかな指導により、豊かな感性や道徳性、課題を解決する力の育成を図ります。

(3) 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進

- 子ども一貫教育基本方針に基づき、関係機関が共通理解、情報交換を行い、切れ目のない支援に取り組みます。
- 関係機関の共通理解等の上に立ち、移行学級や新入生体験入学、オープンキャンパスの他、中学生の保育実習等の校種間の一層の連携と協力を推進します。

3 事業内容（主要事業）

(1) 子ども一貫教育推進事業

糸魚川市子ども一貫教育方針の中から家庭でできる子育ての方法やヒントを子どもの年齢別にまとめた「子育て応援BOOK」を作成し、「0～3才版」については2か月児訪問、「4～6才版」は幼稚園・保育園の入園の際などに配布しています。

また、各幼稚園・保育園での健康教室も開催し、糸魚川市子ども一貫教育方針における家庭の役割について理解を深めました。

(2) パパマママタニティスクール

妊婦と父親を対象としたパパマママタニティスクールを実施し、出産や育児に関する知識や技術を身につけるとともに、心配や不安なことを少しでも解消し、安定したマタニティライフを送ることができるように取組を行っています。また、スクールは仲間づくりの場にもなっています。

【パパマママタニティスクール等の参加状況】 【再掲】

区分	令和元年度	令和2年度
パパマママタニティスクール参加者数	72人	46人

(3) 親子の絆応援事業【再掲】

0歳からの愛着形成推進のため、2か月児訪問、おっぱい相談、すくすく赤ちゃん広場を開催し、具体的な育児方法の助言等を行っています。

中学生を対象とした赤ちゃんふれあいスクールでは、子どもたちと赤ちゃんとのふれあい体験から、愛着形成や生命の大切さを学習する機会を提供しています。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】 【再掲】

区分	令和元年度	令和2年度
母乳育児率（4か月未満児）	46.2%	47.2%
すくすく赤ちゃん広場参加者数	延 195人	延 130人
赤ちゃんふれあいスクール参加者数	596人	0人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子ども一貫教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2か月児訪問時や幼稚園・保育園の保護者会などの機会をとらえて、子育て応援BOOKを配付し、家庭と園で共通理解のもと、子育てを行う仕組みづくりを進めました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの電子メディアの接触時間増加が、健全な成長に与える影響について、あらゆる機会を通じ、一層の周知を図ります。 		
(2) パパマママタニティスクール	評 価	おおむね順調
<ul style="list-style-type: none"> パパマママタニティスクールは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加者数が前年度より減少していますが、妊婦だけではなく家族で出産、育児について学ぶ機会となりました。 妊娠から出産後までの切れ目のない支援のために、妊娠後期電話を行いました。妊娠出産に関する必要な情報提供を行い、安心して出産を迎えられるよう、不安や心配が軽減するような相談に努めました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も妊婦一人一人が安定したマタニティライフを送ることができるよう、ニーズに合った事業や丁寧な相談を実施します。 		
(3) 親子の絆応援事業【再掲】	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母乳育児率は、県平均を下回っていますが、2か月児訪問やおっぱい相談等で母乳育児支援を行い、昨年度より上昇しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、赤ちゃんふれあいスクールは開催できませんでしたが、すくすく赤ちゃん広場を開催し、保護者に愛着形成の重要性などについて理解いただきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も愛着形成の重要性について周知し、親子の絆が深まるよう、訪問や各種教室・相談事業に取り組みます。 		

4 質の高い学校教育の推進

- (1) 魅力ある学校づくりの推進
- (2) 確かな学力の育成
- (3) いじめや不登校のない学校づくりの推進
- (4) ふるさと学習による郷土愛の醸成
- (5) 一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実

【基本方針】

家庭、幼稚園・保育園、学校、地域が連携して、自立して生きる力を身につけた子どもを育てます。

1 施策指標

指標	現 状 (R2)	中間目標 (R4)	最終目標 (R5)
標準学力検査の偏差値平均（小学6年生）	50.4	54.0	55.0
標準学力検査の偏差値平均（中学3年生）	51.2	51.7	52.0

2 施策の方向

(1) 魅力ある学校づくりの推進

- 児童生徒が社会人・職業人として成長するために、自分の可能性を自覚し、将来像を描いて自主的に学ぶ教育活動のさらなる推進を図ります。
- 学校と地域や地元企業、産業が連携し、児童生徒の社会貢献活動や職場体験等の充実を図ります。

(2) 確かな学力の育成

- 家庭と学校が連携し、基礎的・基本的な内容の定着を図り、また自ら学び自ら考える力などの『生きる力』をはぐくむ授業改善に取り組みます。
- 児童生徒の学習保障のために、人的配置や財政支援を実施します。

(3) いじめや不登校のない学校づくりの推進

- 自校のいじめ防止基本方針に基づいて、いじめ等の未然防止や早期発見、組織的対応を行います。
- SNS等、電子メディアを活用する上での情報モラル教育を家庭、関係機関と連携して行います。
- hyper-QUの分析をもとに全校体制で集団づくり、人間関係づくりを進めます。

(4) ふるさと学習による郷土愛の醸成

- ふるさとに愛着をもち、心豊かで自己肯定感の高い子どもを育てるため、ジオパーク学習を中心とした体験学習の充実を図ります。

(5) 一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実

- 子どもの悩みや課題に応じた適切な指導、支援のために、教育相談体制を充実します。
- 学校の生活や学習に困り感を持つ子どもの個別のニーズに応じた支援体制の充実を図ります。

3 事業内容（主要事業）

(1) 子ども一貫教育推進事業

【教育懇談会の開催状況】

通算回数 (実施日)	テーマ・演題・講師	対象者
第21回 (7月17日)	新型コロナウイルス感染症の影響で中止	
第21回 (2月12日)	○取組紹介 ・子ども一貫教育の概要 ・キャリアフェスティバルいといがわの紹介 ○オンライン講演 「教育の魅力化による地域の活性化」 講師：産業能率大学 教授 藤岡慎二 氏 ○グループ協議 テーマ：糸魚川らしさを生かした「教育の魅力化」による地域の活性化を推進するために地域としてできること	キャリアフェスティバル参加企業 小・中・高校の代表、幼・保育園の園長、市役所職員

この他、子育て応援BOOK（小学生版）を作成し、子育てに活用いただけるよう、全児童保護者及び教職員へ配付しました。また、子育て応援BOOK（中高生版）も配付を予定しています。

(2) コミュニティ・スクール推進事業

令和元年度から市内全ての学校でコミュニティ・スクールがスタートしました。10月8日にコミュニティ・スクール代表者会・研修会を実施し、西海小学校、田沢小学校の実践紹介の後、グループ協議を行いました。自校の課題や課題解決に向けた取組について、発表し合い、協議することでコミュニティ・スクールについての理解を深めました。

(3) キャリア教育推進事業

中学校職場体験を実施するため、協力事業所リストを作成しましたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、中学校職場体験を中止としました。代替として、中学校各校で地元事業所の方を招き、キャリア教育授業を行いました。

また、11月12日に総合体育館を会場に、「キャリアフェスティバルいといがわ」を開催し、中学3年生301名と教育関係者、出展事業所43社が参加しました。

(4) 高校を核とした地域人材育成事業

市内3高校の魅力化に資するため、探究学習への支援、企業と連携した学外授業などを行うとともに、各校の魅力づくりの取組に対して支援することを目的として、各高校を支援する団体（PTA等）へ、高等学校魅力づくり支援事業補助金を交付しました。

また、各校の魅力化を進めるため、現状の分析や課題の整理、高校が立地していることによる経済効果などの調査を行い、今後の取組内容を検討しました。

(5) 学力向上支援事業

児童生徒の学習意欲向上を図るため、標準学力検査（NRT）の実施や日本漢字能力検定及び実用英語技能検定の検定料、実用数学技能検定の補助を行いました。例年小学生対象に2回実施している漢字能力検定は、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、1回としました。

また、小学校全校で陰山メソッドによる学力向上対策を実施し、集中力と基礎学力の向上を図るとともに、全校で統一的な取組ができるよう小学校教職員を対象に学力向上研修会を3回開催し、陰山英男氏の示範授業を参観したり、講演を受講したりしました。そのうちの1回（11/20, 21）を陰山メソッド全国大会と兼ねることにより、先進地の教職員とともに研修を深めました。

他に、小中学校の希望校において、授業支援及び放課後や長期休業等を活用した補習学習等にかかる指導員の配置事業を実施しました。

【検定料補助金交付者数】

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日本漢字能力検定（小学生）	355人	374人	331人
日本漢字能力検定（中学生）	138人	150人	121人
実用英語技能検定（小学生）	50人	52人	59人
実用英語技能検定（中学生）	393人	464人	406人
実用数学技能検定（小学生）	2人	6人	5人
実用数学技能検定（中学生）	54人	56人	40人

(6) 教職員資質・指導力向上事業

指導力向上のための研修機会充実を図るための県外研修は、実施がありませんでした。また、新型コロナウイルス感染症感染防止のため各種研修の一部を中止としました。

初任者を対象としたボランティア体験研修と採用3年目の職員を対象としたグローバル研修は、継続して実施しました。

【教職員の県外研修等の状況】

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
県外研修補助件数	14件	18件	0回
教職員研修講座数	21回	21回	16回

(7) いじめ・不登校等対策支援事業

教育相談センターに嘱託指導主事1名、子どもの教育相談員7名、適応指導教室指導員3名を配置し、児童生徒や保護者、教職員への相談活動等を行いました。令和元年度より適応指導教室（能生地域）と若者サポートセンターを新設し、計3名の相談員等を配置しました。

生徒指導支援員を4名任用し、いじめ・不登校防止に向けて、児童生徒への指導方法について教職員を指導しました。

スクールソーシャルワーカーを1名任用し、問題を抱える児童生徒の課題解決を図りました。

(8) ふるさと糸魚川学習支援事業

幼稚園・保育園での自然体験活動や小・中学校における生活科と総合的な学習の時間において、地域に根差した、ふるさと糸魚川を学ぶジオパーク学習を実施し、成果を発表する場として「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」を開催しました。令和2年度より、子ども一貫教育方針の観点から、本交流会を小学校中学年に位置付け、全校の3年生もしくは4年生（複式学級の場合は3・4年生）が参加することとしました。（参加児童302名）

(9) 教育補助員等配置事業

特別支援教育における個別支援のため、小学校35人、中学校10人、特別支援学校4人、合計49名の教育補助員（介助員1名を含む）を配置しました。

学校司書は、糸魚川小学校（糸魚川地域）、田沢小学校（青海地域）及び能生小学校（能生地域）に1名ずつ計3名を配置し、読書量の増加や授業の充実のために図書館の活用を推進しました。

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子ども一貫教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育懇談会は新型コロナウイルス感染症の影響により、年1回の実施、2月の開催とし、参加者の人数を制限して実施しました。「教育の魅力化による地域の活性化」をテーマとしたオンライン講演の後に、0歳から18歳までの子どもを連携・協働で育てるため、地域ぐるみで学校づくりを行う行動連携について話し合いました。懇談会終了後のアンケートでは、肯定的な意見が多く寄せられました。 幼保・小連携、小・中連携、中・高連携の取組が発展・継続しています。こども課の「高校の魅力化」の取組と連携し、幼保小中の取組が高校へとつながるよう、キャリア教育の推進と地域人財の育成に向けて連携を図ることができました。 子育て応援BOOKは、昨年度より保護者への配布としました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校間の連携は進んでいますが、子ども一貫教育の基本理念にある「地域ぐるみ」の子育てという観点で、地域・保護者との連携・協働による取組を今後も拡充していきます。 		
(2) コミュニティ・スクール推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域で、情報や課題・目標・ビジョンなどを共有しながら、各学校の特色を生かした事業に取り組み、家庭・地域の理解を得てきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度も地域とともに子どもを育てる環境が整うよう支援を継続します。 		
(3) キャリア教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学2年生の職場体験が中止となりましたが、代替として、事業所の方を招いたキャリア教育授業に積極的に取り組みました。また、新規に中学3年生を対象とした「キャリアフェスティバルいといがわ」を実施することにより、市内事業所のキャリア教育への理解が深まるとともに、子ども一貫教育の重要な柱として位置付けることができています。 小学校においては、学校運営協議会を活用し、講師を招いてのキャリア教育の講演等が一般的に行われるようになっていきます。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学3年の「キャリアフェスティバルいといがわ」を軸に、小学校のキャリア教育講演、中学2年の職場体験、高等学校のインターンシップを、効果的に各校の教育活動に取り入れられるように関連付けを図ります。 		

(4) 高校を核とした地域人材育成事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内3高校を取り巻く現状に対し、市としても高校への取組の必要性を強く認識しており、魅力づくりの取組に対する支援を行うことで、各校の意識も徐々に変わってきています。 ・ 市内3高校の現状や課題を分析する調査を行い、魅力化の方向性や、取り組むべき施策の検討を行いました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年からの新学習指導要領による、探究学習への移行に合わせ、市としてもより深い学びが実践できるように地域との協働を進めます。 ・ 各校の特色に合わせた魅力化を進めることで、進学率や地元定着率の向上につなげ、どこにいても活躍できる人材育成を図ります。 		
(5) 学力向上支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校では陰山メソッドの取組を通して、基礎学力（計算や漢字学習等）の定着が図られました。 ・ 各種検定では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施回数を減らしたことから、受験者数が減少しました。 ・ 小・中学校ともに本事業によって、補習及び学習支援の人材を活用する学校が増え、児童・生徒の個に応じた学習を行うことができました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「授業改善チェックリスト」とICTを活用した「分かる授業」の推進が進むように指導を継続します。特に、令和3年度からのGIGAスクール構想の実施に伴って、実践を積み重ねていくようにします。 		
(6) 教職員資質・指導力向上事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新学習指導要領に対応できる研修会の実施や、新採用3年目職員対象の若手養成研修等、ニーズに合った研修会を設定しました。 ・ 県外研修補助は、教職員の自主的な研修の活性化につながり、教職員の資質・能力を高めるための支援となりました。 <p>【課題解決】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインによる研修会の開催など、今後もICT機器を活用し、集合型の研修とオンラインによる分散型の研修を組み合わせて実施します。また、学校現場のニーズに合った研修会の企画運営に努めます。 		

(7) いじめ・不登校等対策支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市いじめ防止基本方針及びいじめ防止等の行動計画、いじめ防止に向けた取組について関係機関へ周知しました。 ・ いじめや不登校の早期発見と解決に向けて、生徒指導支援員や相談員等との密接な連携により、学校と教育委員会が一体となって取組を進めています。 ・ 市適応指導教室と学校との連携により、市適応指導教室に通級する児童生徒への学習支援が充実しています。 ・ 能生地域に適応指導教室を増設し拡充してきたことにより、能生地域においても活用しやすい環境が整ってきました。 ・ おおむね25歳未満の青年及びその保護者を対象とした、若者サポートセンターを充実することで、中学校卒業後の青年への支援体制を整えてきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの重大化や不登校児童生徒の増加、長期化の未然防止のため、一層の情報共有を進め、早期発見と早期対応できる体制の構築に努めます。 		
(8) ふるさと糸魚川学習支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校外学習を促進するため、ふるさと学習の他、フォッサマグナパーク学習用のバスを1校に1回追加配車しました。 ・ 「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」の参加者は、これまで一部の小学生、園と中、高校生でしたが、市内の全14小学校の3年生または4年生が参加することとしました。また、ステージ発表から、ブースごとの発表へ変更することによって、参加児童は、各校のジオパーク学習の様子を学ぶことができました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流会の発表形態を見直し、市内全小学校の参加としましたが、発表環境を整え、子どもの成長の場となるように運営を工夫します。 		
(9) 教育補助員等配置事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立学校17校に教育補助員48名を配置し、各校の特別支援教育の充実に寄与しています。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、教育補助員の欠員が補充できない状況です。 ・ 学校司書を3地域に1名ずつ継続して配置し、定期的に担当する学校を巡回することにより、子どもが図書室を活用しやすい環境が維持され、教職員も学習に必要な情報を共有することができました。 		

【課題解決に向けた取組】

- ・ 支援を要する児童生徒の増加傾向が続いていることから、教育補助員の必要度を十分に検討した上で、各校に配置をしています。その一方で、令和2年度末において2名の欠員が生じているため、募集方法の工夫等を通して、欠員の早期充足に努めます。
- ・ 学校司書の資質向上による図書館教育の充実に寄与するため、研修の機会の提供に努めます。

5 学校等教育環境の整備

- (1) 教育環境の充実と教育施設の適正管理
- (2) 安全・防犯対策の充実

【基本方針】

充実した教育環境と安全性を確保するために施設の適正管理を進めます。
また、より良い教育環境を確保するために学校の適正配置方針を検討し、計画的な改修、施設・設備の更新により、安全、安心で快適な教育環境の整備を進めます。

1 施策指標

指標	現状 (R2)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
大規模改修（新築・改築含）の実施校数	11校/21校	12校/21校	13校/21校

※注) 21校は旧浦本小、旧上早川小、旧市振小も含まれる。

2 施策の方向

(1) 教育環境の充実と教育施設の適正管理

- 学校の適正規模や配置についての検討を進め、長寿命化計画を含めた学校適正配置方針を定め、より良い教育環境を確保します。
- 校内無線LANの整備や1人1台の教育用PCタブレット及び大型提示装置を配置し、児童生徒に個別最適化されたICT教育の推進を図ります。併せて使用する教職員に対する研修やサポート体制についても充実します。

(2) 安全・防犯対策の充実

- 通学路等での事故防止への取組や防犯パトロールを継続するとともに、地域やPTA、警察等関係機関との連携による情報共有に努め、安全対策や防犯対策を進めます。

3 事業内容（主要事業）

(1) 学校改修事業

内容	事業費	説明
南能生小学校改修工事	9,594 千円	受電設備更新工事
能生小学校改修工事	3,617 千円	トイレ南面外壁改修 80.4 m ² 職員玄関電子錠化 ・アルミニウム製建具取替 ・電子錠システム改修
田沢小学校改修工事	3,761 千円	昇降口外部建具改修 ・アルミニウム製建具取替 避難器具改修
糸魚川中学校改修工事	25,815 千円	防災監視盤更新 特別支援教室改修
能生中学校大規模改修工事	299,398 千円	校舎大規模改修 (建築) ・外壁全面改修 5,107 m ² ・防水全面改修 3,072 m ² ・建具改修 43 箇所 ・渡り廊下屋根新設 ・床ビニールシート貼り 2,011 m ² ・壁塗装 1,886 m ² ・天井化粧ボード貼り 310 m ² ・工事監理業務委託 (電気設備) ・受変電設備更新 ・電灯、コンセント、拡声、 火災報知設備更新 (機械設備) ・空調機器更新 ・換気扇取替 ・屋内消火栓ポンプユニット取替
青海中学校大規模改修工事	60,461 千円	体育館大規模改修 ・屋根改修 1,573 m ² ・屋上防水改修 574 m ² ・屋上外壁塗装改修 233 m ² ・外壁部分補修 383 箇所

小学校環境改善工事 (新型コロナ対応)	54,277 千円	トイレ洋式化等改修 ・能生小学校 4 箇所 ・下早川小学校 8 箇所 ・大和川小学校 17 箇所 多目的 1 箇所 ・大野小学校 3 箇所 ・青海小学校 7 箇所 自動水栓化 ・小学校 14 校 111 箇所
中学校環境改善工事 (新型コロナ対応)	3,237 千円	自動水栓化 ・中学校 4 校 64 箇所

(2)空調設備等改修事業

内容	事業費	説明
糸魚川中学校空調設備整備 工事	125,950 千円	GHP エアコン更新 ガスFF式暖房機更新

(3)防犯パトロール事業

通学路等での事故防止のため、防犯パトロール員が児童の登下校時の見守りを実施しました。

【防犯パトロール員登録者数】

区分	令和元年度	令和2年度
防犯パトロール員登録者数	133人	128人

(4)学校ICT環境推進事業

校内無線LAN工事を全校の普通教室・特別教室等に設備し、1人1台の教育用PCタブレットを整備

内容	事業費	説明
市内学校 LAN 整備実施設計業 務委託	9,900 千円	全 19 校分実施設計
能生地域小学校無線 LAN 等整 備工事	39,270千円	能生地域小学校 5 校
糸魚川地域小学校無線 LAN 等 整備工事	76,450千円	糸魚川地域小学校 7 校、特別 支援学校 1 校
青海地域小学校無線 LAN 等整 備工事	27,746千円	青海地域小学校 2 校

中学校小学校無線 LAN 等整備 工事	54,780千円	中学校 4 校
学校教育用コンピュータ	157,318千円	教育用 PC タブレット iPad 3,030 台

指導者用のデジタル教科書等の導入状況は、以下のとおり。

小学校：5年、6年の算数及び1学年×1教科

中学校：全学年の数学と英語及び3学年×1教科

デジタルドリル：やるkey 磯部小・中能生小・南能生小・木浦小・根知小

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 学校改修事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校改修事業は、糸魚川市学校施設長寿命化計画に基づき、学校の長寿命化を図るため、順次改修を行っています。 長寿命化以外に、経年による老朽化に伴う修繕も随時行っており、学校からの要望や現地を確認しながら実施しています。 学校の防犯対策として、全小中学校で児童生徒玄関への防犯カメラの設置、職員室玄関の電子錠設置工事（2校）を実施しました。 中学校の大規模改修工事は、長寿命化を図るために順次行っているもので、令和2年度で能生中学校校舎の改修が完了しました。 新型コロナウイルス感染症対策の環境改善事業として、小中学校のトイレの洋式化、ドライ化、蛇口の自動水栓化工事を行いました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校施設は、児童生徒の学習と生活の場であるとともに地域コミュニティや防災拠点、避難所としての役割を果たす施設でもあるため、多目的トイレや電子錠の設置など、ユニバーサルデザインやバリアフリー化による防災機能の強化を積極的に進めていく必要があります。 安全安心な学習環境が確保できるよう施設の維持管理を行い、併せてトイレ洋式化や空調設備の設置等など、感染症にも対応できるような衛生環境や居住環境の改善を図ります。 長寿命化のための改修は、老朽劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、計画的に実施します。 		

(2) 空調設備等改修事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置後、相当年数を経過する糸魚川中学校の空調設備の更新を行いました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器の劣化や更新時期が到来する学校も多いことから、計画的に更新を図っていくとともに、分散授業を行う多目的教室や利用頻度の高い特別教室など、利用状況に応じたエアコンの新規設置を進めます。 		
(3) 防犯パトロール事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロール員から、見守り活動を通じて子どもと接することが、心身の健康につながるという声をいただいています。 ・ 高齢などの理由により、防犯パトロール員の新たな受け手がないことが課題となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校のコミュニティ・スクール等で協議し、地域と学校が一体となった見守り体制を構築します。 		
(4) 学校 I C T 環境推進事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校無線LANの整備及び1人1台の教育用P Cタブレットを導入し、さらには大型提示装置などの周辺機器を順次整備することにより、児童生徒に個別最適化された I C T 教育推進の環境を整えました。併せてプログラミング教育やICT機器の活用方法について、教職員に対する研修やサポート体制の充実を図るため学校 I C T 支援員等の配置を行いました。 		

第2 生涯学習の充実

1 社会教育の充実

- (1) 推進体制の充実
- (2) 青少年の学習機会の充実
- (3) 親と子の学習機会の充実
- (4) 成人・高齢者の学習機会の充実
- (5) 施設の機能充実と有効活用
- (6) 図書館機能の充実

【基本方針】

市民一人一人がふるさとを愛し、心豊かに暮らすため、生涯各期にわたる学習機会の充実を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (R2)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
各種講座等事業の市民1人当たり参加回数	0.5回	1.4回	1.5回
図書館の市民1人当たり貸出冊数	5.0冊	6.1冊	6.3冊

2 施策の方向

(1) 推進体制の充実

- 地区公民館を拠点に地域住民による自主的な学習活動や地域活動を充実させ、市民と行政が協働してひとづくり・まちづくりを推進します。
- 団体やグループの活性化のため、リーダーの育成や支援体制を強化します。

(2) 青少年の学習機会の充実

- 青少年の自然体験活動や異なる年齢の人々との交流活動を促進し、社会の中で自立し、協調できる青少年を育成します。
- 地域の自然や文化・伝統等を学ぶ機会や支援体制を充実させ、ふるさと糸魚川に愛着と誇りを持てる子どもを育成します。

(3) 親と子の学習機会の充実

- 幼稚園・保育園、学校、地域、関係機関が連携して、生活スタイルや家族関係の多様化に対応した学習機会を提供し、家庭における教育力の向上に努めます。

- 子どもの健全な成長を育み、より良い親子関係づくりを推進するため、体験活動などの取組を強化します。

(4) 成人・高齢者の学習機会の充実

- 多様な学習機会の提供により、利用者の増加を図り、他の事業との連携を強化するとともに、地域の人材発掘や学びの成果が生かされる環境の整備を推進します。
- 公民館事業の充実に向けて、各館のさらなる情報共有を図るとともに、地域課題に取り組む事業を推進します。

(5) 施設の機能充実と有効活用

- 施設の大規模改修は計画的に行い、適切な維持管理により有効活用を図るとともに、将来的な地域振興の核として多機能化を図ります。

(6) 図書館機能の充実

- 利用者のニーズの把握に努めるとともに、新刊図書、郷土資料、新聞、雑誌などの資料を充実させ、更に利用しやすい図書館づくりに取り組みます。
- 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭・学校等と連携し、読書環境の整備や啓発活動を行います。

3 事業内容（主要事業）

(1) 地域愛育成事業

「学校支援地域本部事業」を「地域学校協働活動」へと移行させ、希望する学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域の連携を図りました。なお、推進員を置かない学校は、公民館と連携しています。

【地域愛育成事業参加者数】

区分	令和元年度	令和2年度
地域学校協働活動推進員 (令和元年度は地域コーディネーター)	9人	9人
学校支援ボランティア	21,935人	17,795人

(2) 成人教育事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ジオパーク学習、上越市・妙高市と連携して実施する社会教育連携歴史講座など、生涯学習事業の多くが中止、または縮小を余儀なくされました。これに伴い、実施事業数や参加者数は大きく減少しました。

そのような中で、感染症対策を取りながら、リーダー育成事業「おとなのワクワク探検隊」や、高齢者の学びなおし事業「おみちよう英会話」を開催しました。

【成人教育事業参加者数】

区分	令和元年度	令和2年度
おとなのワクワク探検隊参加者数	7人	7人
上越地区広域連携社会教育事業参加者数	176人	中止
生涯学習講座参加者数	102人	8人
地区生涯学習活動推進事業参加者数	2,589人	1,160人

(3) 青少年活動事業

青少年の豊かな心、たくましく生きる力、郷土愛を育むことを目的として、「ワクワク探検隊」や「海とあそぼう」などの、交流を伴う体験学習事業は、新型コロナウイルス感染拡大により実施が困難となりました。

小学生を対象としたキャリア教育の取組である「キッズフェスタ」は、参加者数を限定し、感染対策を取ることで開催しました。

【青少年活動事業参加者数】

区分	令和元年度	令和2年度
ワクワク探検隊参加者数	94人	中止
海とあそぼう参加者数	167人	中止
キッズフェスタ参加者数	650人	101人

(4) 成人式事業

成人を祝い、成人としての自立を促すため、実行委員会を立ち上げて式典の準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、5月3日から11月22日へと延期したのち中止とし、代替えとして11月7日及び22日に新成人を祝う花火の打ち上げを行い、その様子は後日動画配信しました。

【成人式事業出席者数】

区分	令和元年度	令和2年度
成人式出席者数	341人	中止

(5) 家庭教育支援事業

就学時検診や移行学級の機会を活用して保護者に向けて行う「子育て講座」、豊かな想像力を育むことを目的に親子で自然体験活動を行う「ふるさと楽習親子塾」、子どもの居場所づくりや家庭学習の習慣付け、図書館の利用推進を目的とした図書

館に開設する「土曜自習室」などは、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため上半期はほぼ中止としました。

そのような中で、父親向け講座としてこれまで身体を使ったダイナミックな遊びをテーマとした講座を行ってきましたが、令和2年度は正しい生活リズムの定着を目指し、夏休みの始まりにあわせて「お父さんといっしょ」と題した朝ごはんづくりと自習をセットにした事業に取り組みました。

【家庭教育支援事業参加者数】

区分	令和元年度	令和2年度
子育て講座参加者数 (学童期・思春期・中学生等・親子ふれあい)	678人	675人
ふるさと楽習親子塾参加者数	105人	66人
土曜自習室参加者数	64人	27人
父親向け講座参加者数	30人	31人

(6) 図書館資料整備事業

図書(4,880冊)の購入により図書館資料の充実に努めました。

「ジオパークコーナー」「相馬御風コーナー」を常設し、「夏休み自由研究」等のテーマ別に随時コーナーを設置し、関係資料の展示、情報提供などの充実に努めました。

【市民図書館蔵書冊数】

区分	令和元年度	令和2年度
市民図書館	137,418冊	135,710冊
能生図書館	58,742冊	58,886冊
青海図書館	82,276冊	80,824冊
3館合計	278,436冊	275,420冊

(7) 絵本ふれあい事業

ブックスタート、紅梅文庫資料を活用してのまちなか図書館など絵本の魅力を活用し、家庭における読書のきっかけづくりとなる事業を実施しました。

【絵本ふれあい事業参加者数等】

区分	令和元年度	令和2年度
ブックスタート参加者数	203人	193人
図書館における絵本の貸出冊数	43,088冊	41,536冊

(8) 地区公民館・生涯学習施設整備事業

【生涯学習施設整備事業】

内容	事業費	説明
市振支館改修工事 監理業務委託	1,980 千円	改修工事監理業務 一式
市振支館改修工事（建築）	24,243 千円	改修工事（建築） 一式
市振支館改修工事（電気設備）	6,050 千円	改修工事（電気設備） 一式
市振支館改修工事（機械設備）	11,768 千円	改修工事（機械設備） 一式
市振支館外構工事	6,707 千円	外構工事 一式
木浦地区公民館屋根組構造 安全確認調査	902 千円 ※R3 年度へ繰越	現地調査、構造図作成、 許容応力度計算

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 地域愛育成事業	評価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対応に伴い学校行事が縮小し、地域ボランティアの活動機会も少なくなっていました。 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動推進員の活動により、地域と学校の連携が進んできていますが、地域の人々の負担感の増加や、人材の不足が課題です。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動は、地域総掛かりの子育ての仕組みを作る取組として捉え、地域と学校の連携を図りながら、制度の定着及び地域特性に合わせた柔軟な運用を進めていきます。 地域の人々がボランティアしやすくなるような仕組みを検討します。 		
(2) 成人教育事業	評価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度から実施しているリーダー育成事業「おとなのワクワク探検隊」は、コロナ禍での野外活動をテーマに、青少年活動指導者で組織する「アクトキッズ糸魚川」メンバーを対象として行いました。 上越市、妙高市との上越地区広域連携社会教育事業は、バスを用いた事業が困難であることから中止としました。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の学びなおしを目的に開催した「おみちよう英会話」は、令和元年度は地区公民館など4会場で行いましたが、令和2年度は1会場のみで行いました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人の学びなおしに対するニーズの高まりと、地域の人材育成を目的に、「おみちよう英会話」をはじめとした様々なジャンルの学び直し講座を企画していきます。 ・ 上越地区広域連携社会教育事業は新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年度は中止としましたが、今後はインターネットなどを用いての新しい方式での事業展開を考えていきます。 		
<p>(3) 青少年活動事業</p>	<p>評 価</p>	<p>おおむね順調</p>
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ワクワク探検隊」や「海と遊ぼう」などの青少年事業は、学校の異なる児童が交流しながら行う事業であり、新型コロナウイルス感染症対策が十分とれないことから中止としました。 ・ 「キッズフェスタ」は、感染症対策をとりながら看護職体験や大工体験などの職業体験を行いました。ワークショップコーナーにおいて一部密が生まれました。 ・ 中学、高校生が参加する事業がなく、小学校を卒業すると地域とのかかわりが少なくなることが課題です。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施できなかった「ワクワク探検隊」を再開するにあたり、青少年活動の指導者団体である「アクトキッズ糸魚川」と連携し、新しい生活様式に基づく新たな青少年事業の実施方法を検討します。 ・ 「キッズフェスタ」は、参加のしやすさと感染症対策として能生・糸魚川・青海地域で会場を増やして行います。 ・ 高校生を地域人材に生かす事業に取り組みます。 		
<p>(4) 成人式事業</p>	<p>評 価</p>	<p>おおむね順調</p>
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大のため式典の実施ができませんでした。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 式典の開催にあたっては新型コロナウイルス感染症対策を行い、参加者及び関係者の安全、安心を図ります。なお、令和4年4月から成人年齢が20歳から18歳へと引き下げられますが、糸魚川市では従来同様20歳到達後に「二十歳の集い」を開催し、成人の自覚を認識する節目の事業として継続します。 		

(5) 家庭教育支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校等で行う子育て講座や地区家庭教育支援事業に係る委託料が、市の支出金が単なる財源と捉えられているケースが見受けられました。 ・ 「お父さんといっしょ」は父親と正しい生活リズムの定着を図るための事業として新規に行い、好評でした。 ・ 「ふるさと楽習親子塾」は、親子の絆を深めるとともに、糸魚川の良さを知る貴重な機会となっていますが、一部の事業は新型コロナウイルス感染拡大と天候不順により中止となりました。 ・ 「土曜自習室」は、学校とは異なる子どもの居場所の一つとして意義のある事業として取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症感染対策のため上半期は実施しませんでした。 ・ 地域の支援者、理解者を増やすために家庭教育懇談会を開催しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て講座や地区家庭教育支援事業については、公民館職員への予算説明会や教頭会等の機会を利用し、事業の目的を的確に伝えるとともに、特に重点施策を設定し、目的を持った取組を引き続き推進します。 ・ 家庭教育の基本は「正しい生活リズムの定着」ととらえ、「お父さんといっしょ」は継続します。 ・ 「土曜自習室」については、子どもの居場所提供のほか、図書館の活用推進という視点から、参加者の自然な増加を目指して地域の人を巻き込みながら会場を増やします。 		
(6) 図書館資料整備事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書の充実を図り、市民から読書に関心を持ってもらうよう努めましたが、貸出冊数は減少傾向となっています。一方で、登録者数はここ数年、増加傾向となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者からの要望にできる限り応じるために、より一層、図書の充実を図り、図書館利用者の増加に努めます。 		
(7) 絵本ふれあい事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紅梅文庫の一般公開は、新型コロナウイルス感染拡大もあり、イベント的な公開から、「まちなか図書館」として、公共施設への常設に変更しました。また、キターレと合同でイベントを開催し、出張読み聞かせを行うなど、より気軽に絵本と触れ合える場を提供しました。 		

<ul style="list-style-type: none"> ブックスタートでは、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、読み聞かせを中止しましたが、司書がお勧めする絵本をプレゼントすることで、親子で絵本を読むきっかけを提供しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「まちなか図書館」に設置してある絵本や図書の充実を図るとともに、新たな設置場所について検討を行い、多くの人が絵本に触れる機会の提供に努めます。 		
(8) 地区公民館・生涯学習施設整備事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元の了解を得て、閉園した市振保育園を市振支館として活用するための改修を行い、12月から供用開始しました。このことにより、支館と共用していた市振地区公民館は専用施設となりました。 大雪により屋根が損傷した木浦地区公民館は、建物の安全確認調査を行った上で、地区と協議しながら今後の改修計画を立てます。 		

2 スポーツ環境の充実

- (1) 生涯スポーツの振興
- (2) 競技スポーツの振興
- (3) スポーツ大会の開催と誘致の推進
- (4) スポーツ施設の環境整備

【基本方針】

生涯スポーツの推進により、市民の健康づくりや生きがいづくりを促進します。

1 施策指標

指標	現状 (R2)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
市民スポーツ教室、地区スポーツ教室の参加率	3.7%	7.5%	10.0%
スポーツ施設の年間1人当たり利用回数	2.8回	5.0回	5.5回

2 施策の方向

(1) 生涯スポーツの振興

- 体力や運動能力、目的に合わせてスポーツに親しむことができる機会や環境の提供、指導者の育成や資質の向上により、市民一人一人の健康づくりを促進します。
- 各種レクリエーション・スポーツ教室の開催、各種スポーツ活動に対する支援を行い、スポーツによる仲間づくりやコミュニティの活性化を促進します。

(2) 競技スポーツの振興

- 体育協会等団体の活動支援を行い、市民のスポーツへの関心を高め、競技力の向上を図ります。
- 選手の資質を最大限引き出すことと、年齢に応じた指導体制の構築と支援が必要であり、体育協会、学校、各種競技団体との連携の強化や情報交換を図り、指導者の相互連携を促進します。

※「体育協会」は令和元年度から「スポーツ協会」に名称を変更しました。

(3) スポーツ大会の開催と誘致の推進

- 競技水準の向上を図るため、レクリエーションスポーツや競技スポーツ大会、観て感動を受けるスポーツの公式競技大会やイベントなど、各種大会の開催・誘致を推進します。

- 大学等が実施するスポーツ合宿等の誘致に努め、交流の促進と競技レベルの向上を図ります。

(4) スポーツ施設の環境整備

- 計画的に整備・改修を行い、社会体育施設の適切な維持管理を推進します。

3 事業内容（主要事業）

(1) スポーツ推進事業

いきいきスポーツ教室（3種目）、市民スポーツ教室（15種目）、地区スポーツ教室（7地区）や水泳教室を実施し、気軽に参加できる環境づくりに努めました。

冬季スポーツ振興助成事業として、子どもたちへのリフト乗車料金の助成を実施し、雪国の特性を生かしたスキー等のスポーツに親しむ機会を増やす支援を実施しました。

市民総合体育祭（15種目）、ソフトボールとスキー大会を実施（少年少女ソフトボールと駅伝は感染拡大防止のため中止）し、市民の参加と各種団体等と連携した取組を実施しました。

全国大会等出場者激励金を団体5件、個人6件、合計11件交付しました。内訳は小学校1件、中学校5件、高校1件、小・中・高3件、一般1件です。

そのほか中学校軟式野球大会開催を支援しました。

【各種スポーツ教室開催状況】

区分	平成元年度	令和2年度
いきいきスポーツ教室 種目数、延べ受講者数	3種目 230人	3種目 225人
市民スポーツ教室 種目数、延べ受講者数	14種目 206人	15種目 189人
地区スポーツ教室 地区数、延べ受講者数	10地区 1,959人	7地区 1,117人
市主催水泳教室 講座数、延べ受講者数	7講座 1,294人	2講座 37人
冬季スポーツ振興助成事業 助成件数	1,387件	4,900件
海洋スポーツ普及振興事業 参加者数	30人	中止

(2) 体育団体等支援事業

糸魚川市スポーツ協会、ジュニア育成団体に補助金等による支援を行いました。（競技種目別団体30団体、学校体育団体5団体）

【スポーツ協会加盟状況】

区分	平成元年度	令和2年度
加盟団体数	35団体	35団体
加盟者数	6,927人	6,566人
ジュニア補助団体数	44団体	44団体

(3) 有名選手招致事業

水泳教室（健康増進課で実施）

(4) スポーツ施設整備事業

内容	事業費	説明
市民総合体育館改修工事	190,846 千円	工事監理業務委託、空調設備設置、トイレ改修
多目的交流センター体育室改修工事	21,880 千円	屋根改修工事
美山テニスコート人工芝改修工事	30,699 千円	人工芝改修2面 令和2年度支払額 11,700 千円 ※令和3年度へ繰越

【体育施設利用状況】

区分	令和元年度	令和2年度
施設数	30施設	30施設
利用団体数	10,470団体	7,727団体
利用者人数	208,226人	117,129人

【学校施設利用状況】

区分	令和元年度	令和2年度
開放施設数	19施設	19施設
利用団体数	4,765団体	3,779団体
利用者人数	93,714人	65,465人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) スポーツ推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室やスポーツ大会については、スポーツ協会加盟団体や地区公民館と連携して様々な種目で開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い一部を中止しました。 利用希望が重複する施設は、曜日や時間帯の調整により、有効利用を図りました。また、市立小中学校及び市内の高校と連携した学校施設の開放により、有効利用と利用者の希望に沿ったスポーツ活動の場の提供に努めました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式に対応した内容を模索しながら、市民が気軽に参加できる機会の提供を継続します。あわせて、市民ニーズの把握に努め、いつでも・どこでも・誰でもが気軽にスポーツに親しめる環境づくりについて調査・研究を進めます。 		
(2) 体育団体等支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 加盟している会員数は減少傾向にあるものの、加盟団体数は維持しています。 全国大会等の上位大会出場件数は前年度比7割減となりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大による大会中止の影響であると捉えています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技力向上やスポーツ指導者の養成とその資質向上を目指すため、上部団体やスポーツ協会及び加盟団体と今後も連携を図ります。 指導者を対象にした講習会の開催による指導者資質の向上や、協会として取り組む事業の見直しが必要です。 		
(3) 有名選手招致事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は、当課やスポーツ協会での取組はありませんが、健康増進課において水泳教室や講演会の取組を行いました。今後も競技力の向上とスポーツの魅力を市民に伝える効果が上げられるよう継続して事業を実施します。 		
(4) スポーツ施設整備事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合体育館の空調設備設置や多目的交流センターの屋根改修、人工芝テニスコートの改修を行い、施設の長寿命化を図りました。今後も経年劣化した施設の機能保全に努めます。 		

第3 文化の振興

1 芸術文化の振興

- (1) 市民の芸術文化活動への支援
- (2) 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供
- (3) 文化施設の有効活用

【基本方針】

市民の心の豊かさを育むため、芸術文化の振興を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (R2)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
年間1人当たりの文化事業参加回数※1	0.2回	1回	0.9回
年間1人当たりの文化施設利用回数※2	0.8回	1.6回	1.7回

※1 美術展や文化ホール事業等、市が関連する文化事業の参加者数／人口

※2 糸魚川市民会館・青海総合文化会館・ビーチホールまがたま・能生マリンホール利用者数／人口

2 施策の方向

(1) 市民の芸術文化活動への支援

- 市民の主体的な芸術文化活動が地道に行われています。引き続き、これらの活動を支援し、地域の活性化を図ります。
- 市民の文化活動の励みと郷土愛の醸成のため、学校や市民団体等と連携し、郷土にゆかりのある文化人を顕彰します。

(2) 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供

- 心豊かな市民生活に、文化活動は不可欠です。そのために、音楽コンサートやミュージカル、演劇、美術展など優れた芸術文化に触れることのできる機会を提供します。
- 学校をはじめ、市民団体や地域等と連携しながら、若い世代が文化に親しむ機会を設けます。
- 鑑賞機会の提供には、集客型事業のほか、メディアの活用やアウトリーチの実施など、多様な方法に取り組みます。

(3) 文化施設の有効活用

- 糸魚川市民会館及び青海総合文化会館については、市民の文化活動の拠点として、引き続き多くの方から様々な文化活動に利用されるように努めます。
- 文化施設の多くは老朽化が進んでいるため、利便性や効率性を考慮しながら、公共施設等総合管理指針に基づき、あり方を検討するとともに、計画的な改修整備等を行います。

3 事業内容（主要事業）

(1) 文化活動支援事業

市民の自主的な鑑賞事業の実施を支援することにより、優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図るための支援制度ですが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、実績がありませんでした。

【文化活動支援事業支援状況】

区分	令和元年度	令和2年度
支援件数	2件	0件
補助額	1,573千円	0円
入場者数	993人	0人

(2) 美術展覧会事業

青海美術展、能生作品展については、出展数を制限して実施し、糸魚川市美術展覧会、糸魚川市児童生徒図工美術作品展は、中止となりました。また、画廊きららでは常設展示を行いました。

【美術展覧会実施状況】

区分	令和元年度	令和2年度
入場者数	3,475人	1,848人
作品数	1,121点	278点

(3) 相馬御風顕彰事業

短歌大会と俳句大会を隔年で開催し、令和2年度は、短歌大会を開催しました。例年、大会では、選者による講演会を実施していましたが、講師の都合により、講演会は中止とし、表彰式のみを実施しました。

【短歌・俳句大会実施状況】

区分	令和元年度	令和2年度
応募人数	2,304人	1,749人
応募作品数	3,582句	2,030首

※令和元年度は俳句大会、令和2年度は短歌大会を実施。

(4) 文化協会支援事業

補助金による支援及び人的支援（事務局代行）を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止となりましたが、3月には感染症拡大防止対策を徹底し、2年ぶりに文化協会フェスティバルを実施しました。

【事業実施状況】

区分	令和元年度	令和2年度
会員数	122団体 2,615人	119団体 2,603人
事業数（総合）	5件	2件
事業数（部会）	6件	2件
参加者数	1,596人	1,079人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの事業が中止。

(5) 鑑賞推進事業

感染症拡大防止対策を徹底しながら、優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供するとともに、市民参加型事業をはじめ、老若男女を問わず鑑賞可能なジャンルの公演事業充実を図りました。また、インターネット動画配信にも新しく取り組みました。

【鑑賞推進事業実施状況】

区分	令和元年度	令和2年度
事業数	19回	12回
鑑賞者数	10,711人	3,025人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホール収容率の50%以下の座席数で実施。

(6) 文化施設改修事業

老朽化、経年劣化による不具合が多くなっており、利用者の利便性を確保するため、優先度の高い施設の改修工事等を行いました。

【青海総合文化会館施設改修事業】

内容	事業費	説明
音響設備改修工事	20,350 千円	音響調整卓、出力調整架、パワーアンプ架取替

【ビーチホールまがたま】

内容	事業費	説明
舞台機構改修工事	4,114 千円	舞台機構リミットスイッチ更新

【能生マリンホール】

内容	事業費	説明
ピット内流入水排出処理及ダクト撤去工事	1,133 千円	ピット内流水処理 空調フレキシブルダクト撤去搬出

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 文化活動支援事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止をはかるため、事業取下げ、また事業内容や時期の変更を余儀なくされたイベントがあり、実績がありませんでした。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業を活用する団体に対し、各種の支援を行います。 		
(2) 美術展覧会事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減や自己表現方法の多様化などにより、入場者数、出品数ともに減少傾向にあり、出品者の固定化、高齢化も課題となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、作品製作の裾野を広げるための活動を行います。 		
(3) 相馬御風顕彰事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募人数、作品数ともに大きな変動はありませんが、インターネットを用いた作品募集を実施し、全国からの応募がありました。 指導者、地元選者の高齢化が進み、市内学校で「短歌教室」等の実施が困難になってきています。 相馬御風の業績周知という点では、顕彰事業の効果が小さいという課題があります。 		

<p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学生等が俳句・短歌に親しみを持ち、将来の指導者育成（御風顕彰）につながるよう取組を継続します。 ・ インターネットでの作品募集を継続し、御風の業績の周知に努めます。 		
(4) 文化協会支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の積極的な事業参画を促すことにより、事務局負担軽減の成果が安定してきています。事業はマンネリにならないよう努力しています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業と事務の効率化を行い、引き続き助言等を行っていきます。 		
(5) 鑑賞推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、幅広いジャンルで、老若男女が楽しめる鑑賞事業を継続的に企画、実施しています。 ・ 座席数を収容率50%以下に設定し、感染症拡大防止対策を徹底しながら、イベント運営を行いました。来場者からは、生の舞台や演奏等に触れられることを感謝する声が寄せられました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来館者へのアンケートを随時実施することによりニーズ把握に努め、可能な限りそれに沿った芸術文化の公演実施に取り組みます。また、併せて鑑賞事業に来館されない方々のニーズの掘り起こしも進めます。 		
(6) 文化施設改修事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民会館を除く市内3か所のホールは、老朽化、経年劣化により、改修や修繕、更新が必要となっており、計画的な改修工事を実施すべく年次計画を立てて取り組んでいます。 ・ 近年、保守点検等で複数の要修繕箇所が指摘されていますが、突発的な修繕も含めて多額な費用を要することから、計画どおりに進んでいません。 ・ 施設の長寿命化を念頭に、予防保全的な改修や修繕を計画するものの、財政計画との兼ね合い等から計画どおりに進んでいません。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐用年数を経過した施設の予防保全的な修繕、改修を行うことを念頭に置きつつ、財政計画を考慮しながら優先順位を決めて、対応を進めます。 		

2 歴史・文化の継承と活用

- (1) 博物館施設の充実と活動の推進
- (2) 文化財の保存と活用
- (3) 伝統文化の継承と活用
- (4) 文化財収蔵・公開施設の整備

【基本方針】

ふるさと糸魚川に誇りを持ち愛する心を育むため、文化財や伝統文化の保存と活用を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (R2)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
博物館・資料館入館者数※1	55,501人	122,000人	127,000人

※1 フォッサマグナミュージアム、長者ヶ原考古館、糸魚川歴史民俗資料館、能生歴史民俗資料館、相馬御風宅の入館者数

2 施策の方向

(1) 博物館施設の充実と活動の推進

- フォッサマグナミュージアムは、ジオパークの拠点施設として、糸魚川の貴重な自然資源や資料について研究、収蔵し、分かりやすく情報を発信します。
- フォッサマグナパークは、郷土の大地の成り立ちについて理解を深めるために欠かせない自然資源であり、地域の活性化も視野に入れて保存と整備を行います。

(2) 文化財の保存と活用

- 文化財の適正な保存・管理を図るため、解説板及び標柱の整備や普及活動に努め、文化財に対する市民の理解を促します。
- 埋蔵文化財の適正な保存を図るため、調査成果を広く市民に公開し、埋蔵文化財に対する市民の理解を深めます。

(3) 伝統文化の継承と活用

- 伝統文化を次世代に継承するため、主体的、積極的な伝承活動や保存活動を促し、支援します。

(4) 文化財収蔵・公開施設の整備

- 文化財を適正に保存、活用するため、収蔵、展示方法を見直し、既存施設の有効活用を図ります。

3 事業内容（主要事業）

(1) 博物館活動推進事業

ア 展示活動

内容	会期・会場	説明
トピック展示 「コスモクロア輝石の展示」	10月3日(土)～ 12月27日(日) フォッサマグナミュージアムロビー	山之坊で新たに発見されたコスモクロア輝石の標本と露頭についての解説を展示
ジオパーク学習交流発表会 ポスター展示	11月15日(日)～ 12月27日(日) フォッサマグナミュージアムふるさと展示室	市内の小学生がジオパーク学習交流発表会のために作成したポスターを展示
トピック展示 糸魚川市根知の糸魚川－静岡構造線、国天然記念物指定記念「糸魚川－静岡構造線の価値とフォッサマグナパーク30年の歩み」	11月22日(日)～ 4月5日(月) フォッサマグナミュージアムふるさと展示室	国の天然記念物に指定されることが決まった糸魚川－静岡構造線の断層露頭の価値とフォッサマグナパークの歴史について展示
特別展 「南の海のサンゴ礁」	【中止】 10月17日(土)～ 12月6日(日)	青海石灰岩から産出する化石を展示
ミニ企画展 『探査機「はやぶさ2」と小惑星リュウグウ』	12月8日(火)～ 1月31日(日) フォッサマグナミュージアム展望廊下	小惑星「リュウグウ」から地球にサンプルを持ち帰った探査機「はやぶさ2」の解説と当館所蔵の隕石を展示

イ 教育普及研究活動

区分	令和元年度	令和2年度
ジオパーク野外講座	7回 78人	2回 20人
ジオパーク講座	5回 88人	5回 86人
記念講演会	1回 51人	中止
おもしろみゅーじあむ	6回 111人	17回 239人
ジオパーク関係講座	11回 318人	6回 55人
学校教育との連携	63回 3,093人	72回 3,061人
公民館等への出前講座	48回 1,848人	30回 527人
調査研究活動（学会発表含む）	47回	58回

(2) フォッサマグナパーク整備事業

内容	事業費	説明
フォッサマグナパーク断層露頭レーザ計測業務委託	1,397千円	断層露頭の風化浸食速度の把握

(3) 国指定文化財整備事業

内容	事業費	説明
名勝「おくのほそ道の風景地親しらず」保存整備事業	13,297千円	大懷樹木伐採 A=400m ² 転落防止柵設置 L= 69m

(4) 埋蔵文化財発掘調査事業

試掘確認調査を6か所で行いました（清崎城跡ほか）。

【試掘確認調査】

区分	令和元年度	令和2年度
遺跡・地点数	6か所	6か所
調査規模	235m ²	270,079m ² (含踏査)

(5) 埋蔵文化財保存・活用事業

長者ヶ原遺跡について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、指導委員会は1回の開催となりましたが、県内在住の指導委員から整理作業の指導を受けるなど出土遺物の整理、図版等の編集を行いました。

(6) 文化財保護事業

【文化財管理・調査・継承】

区分	令和元年度	令和2年度
表示物	2件	1件
調査・記録	1件	1件
助成事業	3件	3件

【ジオパーク歴史講座・市内遺跡発掘調査報告会】

区分	令和元年度	令和2年度
講座数	14講座	6講座
聴講者数	485人	92人

(7)企画展等

【企画展・講演会】

区分	令和元年度	令和2年度
糸魚川歴史民俗資料館企画展	479人	501人 (含解説会)
史跡相馬御風宅企画展	403人	608人
講演会	85人	67人
見学会	—	28人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 博物館活動推進事業	評価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対応により、活動の中止や縮小を余儀なくされましたが、新たに発見されたコスモクロア輝石や国指定天然記念物になった糸魚川―静岡構造線断層露頭の展示、小学生のジオパーク学習ポスター展示など、地元に関係したトピック展示を行いました。 新潟大学理学部との関係を強化し、研究や教育活動を今以上に推進していくために、新潟大学理学部と「連携に関する覚書」と「サテライトミュージアムに関する申合せ書」を締結しました。 		
(2) フォッサマグナパーク整備事業	評価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 断層露頭が国天然記念物に指定され、平成30年度の野外展示リニューアルと合わせて、科学的な価値と学習のしやすさが評価され、市内外の教育旅行に利用されています。 フォッサマグナパーク保存活用計画策定委員会における断層露頭の国指定意見具申書の審議を経て、国指定になりました。さらに断層露頭の保全や利用、枕状溶岩の展示方法、周辺の地域資源との回遊性について議論していきます。 		
(3) 国指定文化財整備事業	評価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 概ね適切に管理し、保存・活用も含め着実に実施しています。 市内の文化財の適切な保存、管理、活用を総体的に図るため、令和3、4年度に文化財保存活用計画の策定を推進します。 		

(4) 埋蔵文化財発掘調査事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発に伴う法令行為については、円滑に事業を推進し、成果の公開・活用を行いました。 ・ 埋蔵文化財の適切な保存のため、開発行為等の情報収集と円滑で効果的な事業を継続して実施します。 		
(5) 埋蔵文化財保存・活用事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度刊行に向け、長者ヶ原遺跡発掘調査整理指導委員会の指導及び報告書編集業務を専門業者に委託し、編集作業を進めます。 		
(6) 文化財保護事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定文化財の管理を適切に行いました。 ・ 文化財の周知・活用を目的とした講座等を開催してきましたが、さらに市民の理解を進めるとともに、電子媒体等も活用して市内外へ、より積極的な情報発信を図ります。 		
(7) 企画展等	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに購入、寄贈された所蔵資料等を適切に公開しました。 ・ 所蔵資料のさらなる公開を企画し、市民の文化財に触れる機会の拡大や文化財への理解を深めます。 		

評価事業一覧

第1章 0歳から18歳までの一貫した子育てと教育の推進

施策	主要事業	評価	頁
1 妊娠出産支援と親子の健康	(1) 妊娠アシスト事業	おおむね順調	8
	(2) 乳幼児すこやか事業	順調	9
	(3) 親子の絆応援事業	おおむね順調	9
	(4) めだか園運営事業	遅れている	9
	(5) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	おおむね順調	9
	(6) 親子食育推進事業	おおむね順調	10
2 子育て支援の充実	(1) 特別保育事業	おおむね順調	14
	(2) 休日お助け保育事業	順調	14
	(3) 子ども医療費助成事業	おおむね順調	14
	(4) 病児・病後児保育事業	順調	15
	(5) 子育て支援センター運営事業	おおむね順調	15
	(6) ファミリーサポートセンター事業	おおむね順調	15
3 就学前教育の充実	(1) 子ども一貫教育推進事業	おおむね順調	18
	(2) パパマママタニティスクール	おおむね順調	18
	(3) 親子の絆応援事業【再掲】	おおむね順調	18
4 質の高い学校教育の推進	(1) 子ども一貫教育推進事業	おおむね順調	23
	(2) コミュニティ・スクール推進事業	おおむね順調	23
	(3) キャリア教育推進事業	おおむね順調	23
	(4) 高校を核とした地域人材育成事業	おおむね順調	24
	(5) 学力向上支援事業	おおむね順調	24
	(6) 教職員資質・指導力向上事業	おおむね順調	24
	(7) いじめ・不登校等対策支援事業	おおむね順調	25
	(8) ふるさと糸魚川学習支援事業	おおむね順調	25
	(9) 教育補助員等配置事業	おおむね順調	25
5 学校等教育環境の整備	(1) 学校改修事業	おおむね順調	30
	(2) 空調設備等改修事業	おおむね順調	31
	(3) 防犯パトロール事業	おおむね順調	31
	(4) 学校ICT環境推進事業	順調	31

第2章 生涯学習の充実

施策	主要事業	評価	頁
1 社会教育の充実	(1) 地域愛育成事業	おおむね順調	36
	(2) 成人教育事業	おおむね順調	36
	(3) 青少年活動事業	おおむね順調	37
	(4) 成人式事業	おおむね順調	37
	(5) 家庭教育支援事業	おおむね順調	38
	(6) 図書館資料整備事業	おおむね順調	38
	(7) 絵本ふれあい事業	おおむね順調	38
	(8) 地区公民館・生涯学習施設整備事業	順調	39
2 スポーツ環境の充実	(1) スポーツ推進事業	おおむね順調	43
	(2) 体育団体等支援事業	おおむね順調	43
	(3) 有名選手招致事業	順調	43
	(4) スポーツ施設整備事業	順調	43

第3章 文化の振興

施策	主要事業	評価	頁
1 芸術文化の振興	(1) 文化活動支援事業	遅れている	47
	(2) 美術展覧会事業	おおむね順調	47
	(3) 相馬御風顕彰事業	おおむね順調	47
	(4) 文化協会支援事業	おおむね順調	48
	(5) 鑑賞推進事業	おおむね順調	48
	(6) 文化施設改修事業	遅れている	48
2 歴史・文化の継承と活用	(1) 博物館活動推進事業	順調	52
	(2) フォッサマグナパーク整備事業	順調	52
	(3) 国指定文化財整備事業	順調	52
	(4) 埋蔵文化財発掘調査事業	順調	53
	(5) 埋蔵文化財保存・活用事業	順調	53
	(6) 文化財保護事業	順調	53
	(7) 企画展等	順調	53